危機管理マニュアル

未然防止のために 人権意識 危険予測 防衛行動 教材研究 学習・教 室環境整備等

留意事項

- ① 「安全な避難と児童生徒の管理」が第一である。
- ② 通報は正確に行う。

「いつ」「どこで」「何が」「どのように」正確に

·印西消防署 42-0119

· 印西西消防署 47-0119

・印西警察署中央駅前 46-4671

・印西警察署 42-0110

非常変災時 (火災・地震・その他)

児童の行動と内容

- 1 第1次避難をする。
 - 机の下にもぐる。
 - 机の脚をしっかり握る。
 - ・ガラスの方に頭を向けない。
 - ・次の指示を静かに待つ。

教師の指示と行動

- ・児童を掌握し、安全な場所に誘導して しゃがませる。
- ・火、電灯を消す。
- 出口の確保をする。ベランダを開け、カーテンを閉める。
- ・避難経路の安全確認をする。
- 2次避難に備える。

安全確認中の放送

- ・教師は、教室の電気、できる限りのすべてのコンセントを抜く。
- ・児童を整列させ、静かに二次避難 の準備をする。(児童を掌握する すべての職員)
- ・落ち着いて、次の放送があるまで、静かに整列し、待 機させる。



安全が確認できた場合、通常 生活に戻る

第2次避難の放送

- 4 第2次避難をする。
 - ・防災頭巾をかぶり、背の順に 教室の後ろに並ぶ。
 - 「おかしもよ」の約束を守り 教師の誘導で避難する。
 - ・上履きのまま出て、避難場所に並ぶ。
- 教師はヘルメットをかぶる。
- ・緊急時児童名簿を持つ。
- ※残留者探索の学級担任は, <u>自クラスを託す職員に緊急</u> 時児童名簿を預ける。(引き渡し時)
- ・窓や扉、カーテンを確認して避難する。
- 避難経路の安全確認をする。
- ・ 負傷者, 残留児童の有無を確認し, 避難誘導する。
- ・落下物に気をつけさせる。
- 点呼をとる。

不審者侵入時

- 1. 事件発生
- ①不審人物に声を掛ける。
- ①近くの職員に連絡する。
- ・非常事態を周りに知らせる。(大声, 笛等で)
- ・火災報知機を押して警察、職員室に異変を知らせる。
 - ②廊下で不審者対応している間に児童は避難または教室待機。
- 3. 緊急連絡
- ○校長・教頭・職員室在室者
 - ・校内緊急放送をする。

菜の花集会の準備をしてください。

準備ができたら「○棟○階」から移動してください。

- 全職員による対応 避難場所への避難
- ・男性職員…現場へ直行し不審者への対応等を行う。
- ・女性職員…安全確認し児童を各教室まで避難誘導する。 出口と入口をおさえバリケードを張り、児童を落ち着かせて、静かに1ヵ所にまとめて掌握する。
- ○避難時の注意事項
- 不審者が入ってこないよう、ドアをブロックする。

鍵がかかるドアは鍵をかける。

鍵がかからない場合は、机等のあるものでバリケードをつくる。

窓から見えないようにしゃがんで待機する。(絶対にしゃべらない)

- ・児童名簿を持つ。(避難担当教師)
 - 不審者対応へいく学級の名簿は、担当が同学年の教師(不可能な場合は児童に)へ渡してから、不審者対応へ向かう。
- 点呼をとる。
- ◎安全確保の放送まで静かに待機する。
 - ⇒さらに移動が必要な場合は緊急放送にて連絡。

○避難場所

学 年 園

5 年 3 年 1 年 2 年 4 年 6 年 わ ふ く よ あ

- ・正面(学年園)に向かって左から4組,3組,2組,1組の順に並ぶ。
- ・各学級、背の順、2列に並ぶ。トラック内側コースロープ先頭